

不幸な生徒を生まないために
～まずは身近な防犯を～

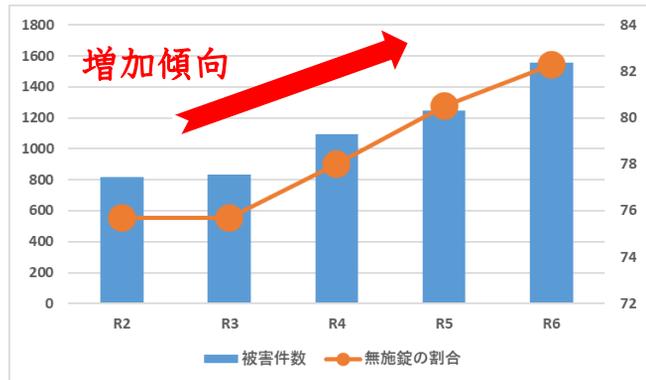


熊本県内の刑法犯認知件数は令和5年から2年連続で増加し、令和6年は6,722件となりました。その中で最も多いのは自転車盗被害です。多くの中高生が通学手段として自転車を利用していますが、その殆どは、入学に期待を膨らませながら保護者と一緒に選んだ大事な自転車です。しかし、慣れとともに鍵をかけなくなり、**盗難被害に遭ってしまう生徒**もいるかもしれません。また、急いでいるときや外出時の足代わりとして、つい魔が差して自転車を盗んでしまい、**警察に捕まってしまう生徒**もいるかもしれません。そのどちらも主な要因は、『**自転車に鍵がかかっていないから**』です。被害で悲しむ生徒、犯罪を犯して後悔する生徒のどちらもあってはいけません。「**自転車の鍵かけの習慣付け**」について、生徒達への御指導をよろしくお願いします。

自転車盗の現状（県内）

令和6年中の自転車盗被害は前年比+307件の1,556件発生しています。

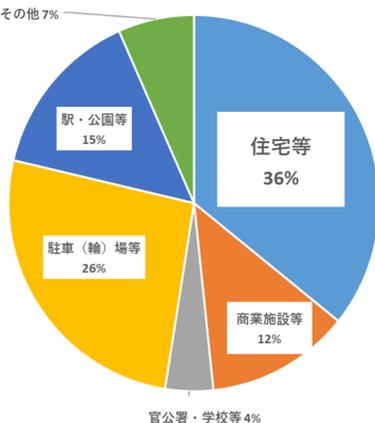
そのうち、無施錠による被害は82.3%で、無施錠による被害の割合が年々増加傾向にあり、鍵かけ指導の重要性がわかります。



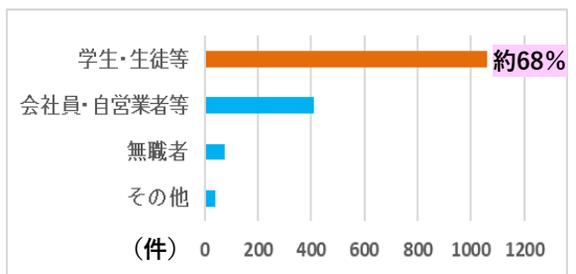
【参考】 自転車平均販売価格：約49,000円（R6.12現在）

自転車盗の現状（R6）

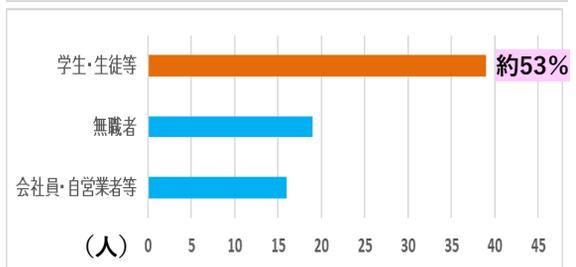
被害場所の割合



被害状況



検挙状況



- 被害場所別では、住宅等（集合住宅含む）での被害が最も多く全体の36%を占めます。自宅でも鍵かけを徹底する必要があります。
- 被害者及び被疑者の学職の別では、被害者の約68%、被疑者の約53%が学生・生徒等でいずれも最多です。規範意識の醸成をお願いします。